



処理費用は原因者負担

油流出事故

可搬式オイルフェンスによる油流出防止 (H29.11.21関係機関による水質事故対応訓練)



フェンスの組立



フェンスの運搬



河川への設置(展開)



事故対応事例

平成29年8月23日朝
能代市二ツ井町の米代川で
水没車両を発見。
油流出防止のためオイルフェンス
を設置。

米代川水系水質汚濁対策協議会

事務局／国土交通省 能代河川国道事務所 河川管理課 TEL0185-70-1246

水質事故の多くは油の流出！ 原因の大半は“不注意”

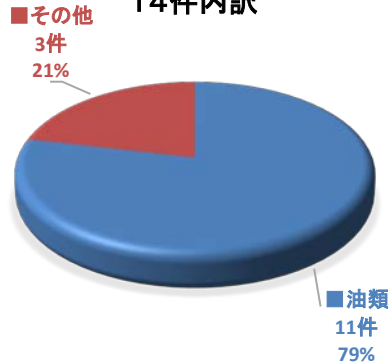
平成28年度、米代川水系で発生した水質事故は
14件 原因物質の**79%は油類**
原因判明のうち**機械故障が21%**
(日頃の点検で防止が可能)

油が漏れ出すと火災の危険があるほか、地下水
や植物の生育障害等、環境に悪影響を及ぼし、
また、河川まで流れ出してしまうと水道の取水停止
につながり、地域生活に重大なダメージを与える
ことから**早急の回収、流出防止対策**をとる必要
があります。

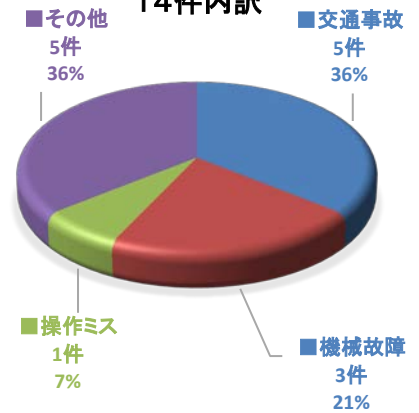
その際の**処理費用は、事故を起こした人が負担**
しなければなりません。原因者とならないよう
下記に注意して下さい。

また、万が一事故を起こした時や発見した際は、
早期に近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、
警察へ連絡して下さい。

H28物質別件数
14件内訳



H28物質別件数
14件内訳

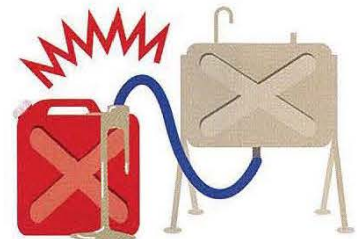


家庭で

事故事例：ホームタンクから小分け中に現場を離れ、灯油200ℓが河川に流出。
水道が取水停止となり、原因者に**被害額が請求**された。

給油の時そばを離れない

最近では電動式の給油ポンプが多く使われています。自動的に停止する装置がついていても、目を離したすきにポンプが傾いたりして、あふれてしまうことがあります。あふれた灯油は火災をおこす危険があり、また川に流出して汚染の原因となります。給油が終わるまでは、決して目を離さないようにしましょう。
また、**ホームタンクや配管の定期点検を実施**しましょう。



事業所で

事故事例：事業所敷地内の油分離槽に雨水が入り込み廃油が流出。
老朽化した暖房用燃料配管に亀裂が入り灯油が流出。

定期点検の実施

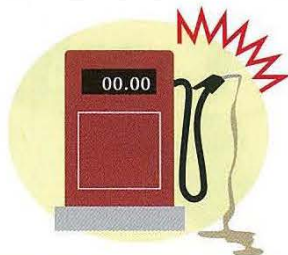
消防法では、危険物施設の区分毎に定期点検の時期や内容が定められています。法令で定められた定期点検を確実に
行うのはもちろんですが、事故を防ぐためには毎日の作業の中に点検が組み入れられ、それが日常化する事が大切です。

施設の**操作・作業方法**の確認・徹底



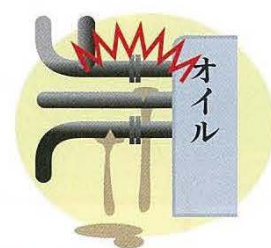
廃油の管理

自動車工場、廃車置き場など



油水分離槽の管理

ガソリンスタンドなど



冷暖房用の燃料管理

ホテル・工場・学校・会社